

---

# 深夜の後悔

真浦塚真也

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

深夜の後悔

### 【Nコード】

N4481E

### 【作者名】

真浦塚真也

### 【あらすじ】

未熟な男が未熟な自分に後悔する短いお話。

本当に俺ってばーか。

俺は俺を馬鹿にする。

本当に情けないな。

俺は俺を蔑む。

本当にどうしようもないな。

俺は俺にあきれる。

本当に何やってるんだよ!!

俺は俺を叱りとばす。

君は悩んでいた。それは俺も知っていた。

君は落ち込んでいた。それも俺は知っていた。

君は痛みを苦しんでいた。もちろん、俺は知っていた。

でも、だめだった。

全然、だめだったんだ。君は俺の想像よりはるかに悩んでいて、

君は俺の想像よりはるかに落ち込んでいて、君は俺の想像よりはるかに痛みを苦しんで、もがいて、どうしようもなくなっていて、俺にその不安を語っている目を向けていたはずなのに。

俺はだめだった。

俺は全然だめだったんだ。

俺は、君の悩みも、落ち込んでいることも、痛みを苦しんでいることも、全部分かっていたつもりになっていた。本当は10分の1も、100分の1も分かっちゃいなかったのに。

それなのに、俺は君の彼氏でいれることに舞い上がっていて、君の心を読み取ろうとしなかった。

いや、実際は浅はかな推測で君の心を間違って読み取って、それで満足していただけなんだ。

その上、『俺って女心分かってんじゃない。』なんて勘違いして、

勘違いな俺自身に酔っちゃって…。

俺は最低のクソ野郎だ。

一週間前、君からメールが来た。メールの中の君は、もう、どうしていいのか分からないのだそうだ。俺と一緒にいるとつらくなってしまうとも言ってきた。しばらく距離をおきたいとも言ってきた。最後に『いままで、ありがとう』のメッセージも添えてあった。

君からのメールはそれっきりだった。俺からのメールにも電話にも反応はなかった。

本当に俺ってばーか。

俺は俺を馬鹿にする。

本当に情けないな。

俺は俺を蔑む。

本当にどうしようもないな。

俺は俺にあきれる。

本当に何やってるんだよ!!

俺は俺を叱りとばす。

時計を見つめる。時計はいつのまにか日にちが引越して5時間程経ったことを伝える。

俺は目を閉じる。寝るためじゃない。もう何も感じたくない。もう、流せる涙は底をついた。もう、後悔に浸るのに慣れすぎてしまった。

時計はゆっくりと時間の進み具合を伝える。

眠れない夜はまだ当分続きそうだ。

**（後書き）**

御覧頂きありがとうございます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4481e/>

---

深夜の後悔

2010年12月2日02時36分発行